

今日のみ言葉 276 「私は再びあなた方と会う」

2018.2.10

今はあなたがたも、悲しんでいる。

しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。 (ヨハネ福音書16の22より)

You now have sorrow; but I will see you again and your heart will rejoice, and your joy no one will take from you.

再び会うーこの単純な言葉には、深い意味が込められている。

キリストは、自分が死んでいこうとするときに、ふつうならもう二度と会えないにもかかわらず、「再びあなた方と会うのだ」という驚くべき約束をされた。

そして、じっさいにキリストは復活され、みえる形で弟子たちと再会された。その後は、天に帰られ、聖霊となって弟子たちとさらにより霊的なかたちで再び会うことになり、以後はつねに共にいてくださるようになった。

もっとも大切なものは、一時的に壊れてしまい、消えてしまったように見えても、滅びることないゆえに、私たちが心から求めさえすれば再び会うことができる。

キリストは真理そのものである神の力をそのまま受けておられた方であったゆえに、不滅であり、それゆえに弟子たちは再び会うことができた。

神の本質である愛や、真実、永遠、美などは、悪の力によって弱められ、ときには滅ぼされてしまったように見えても、全能の神を信じる者は再び出会うことができる。それらは不滅だからである。

この世では、悪しき力が働いて、よいものを壊し、滅ぼしてしまうことがよく見られる。しかし、永遠の神と結びついているならば、そのように表面的には滅ぼされたようにみえても、彼らの本質は失われていない。真理の神が保持されているからである。

その最もはっきりとした証しとして、キリストはじっさいに復活されたのであった。現代の私たちも、神を信じて心から求めるときには、復活されたキリストと出会うことが赦されている。それは聖霊を受けることでもある。

また、神を信じてすでに地上の命を終えた人たちも、復活してキリストの栄光のすがたと同じような永遠的な存在になっているのであるから、その人たちともまた再会できる。私たちのほうで、罪を犯し、神様に顔向けできないようなことが起こっても、心から悔い改め、神を仰ぐならば、神と再び会うことができるようにしてくださる。神は愛であるゆえに、そのように立ち返るだけで最もよきものと再び出会うようにしてくださる。



この花は、1メートル前後になり、しばしば群生して花の季節には、白い花が林立します。この花を最初に私が見たのは、地元徳島県の最高峰である剣山の標高1500mから上部の特定の山域においてでした。平地では見たことのない白い花がすらりとした茎を立てて上部に真っ白な花が茎をとりまいて咲いている姿は、一見して忘れることのない植物となったのです。

サラシナ（晒菜）とは、若菜を茹でて晒して山菜としたからであり、根の部分は「升麻」と呼ばれる漢方薬になるとあります。

しかし、そうした利用とはちがって、この花をじっと見つめているだけで、私たちの心の栄養となり、薬となるように感じます。この写真では、1000メートルを越える山地にあって、遠くを見渡しつつ、澄みきった大気を吸いつつ、遠くの青くかすむ山々や大空と語り合っているかのようです。

そしてさらに、見るものにも語りかけてきます。創造主である神の清い言葉、しかもどこまでも深い意味をなげかけつつ、沈黙のなかから、語りかけてくるのです。

（写真・文ともT.YOSHIMURA）